

第5回稲沢市観光基本計画推進委員会 会議録

【日 時】令和4年3月1日（火）午後2時から午後4時12分まで

【場 所】稲沢市産業会館1階 大会議室

【出席者】稲沢市観光基本計画推進委員会委員（敬称略）

委員長	大澤 健	和歌山大学経済学部教授
副委員長	榊原 仁	一般社団法人愛知県観光協会専務理事
委員	古川正美	稲沢市観光協会事務局長
	阿部一洋	稲沢商工会議所理事兼事務局長
	桜木三喜夫	祖父江町商工会事務局長
	南谷一夫	平和町商工会事務局長
	木下正章	名古屋鉄道株式会社 グループマーケティング部ツーリズム推進担当課長
	河村宏一	愛知西農業協同組合常務理事（経済担当）
	鈴木康仁	尾張大國霊神社権禰宜
	小島慎也	国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所河川公園課長
	大野芳樹	公募市民
	吉田恵子	公募市民

【事務局】

岩間福幸	稲沢市経済環境部長
足立和繁	稲沢市経済環境部次長兼商工観光課長
加藤敦史	稲沢市経済環境部商工観光課主幹
大屋 将	稲沢市経済環境部商工観光課主査
酒井仁志	稲沢市観光協会観光コーディネーター兼事務局次長
櫻木 彰	稲沢市観光協会事務局次長

【傍聴者】 なし

【会議次第】

- 1 委員長あいさつ
- 2 委嘱状交付
- 3 自己紹介
- 4 協議事項
 - (1) 稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）の進捗状況について
 - (2) 次年度の取組方針について
 - (3) 計画の中間見直しについて
 - (4) その他
- 5 その他

【会議の概要】

[事務局]

皆様こんにちは。ただ今から稲沢市観光基本計画推進委員会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めます稲沢市経済環境部次長兼商工観光課長の足立和繁です。よろしくお願いいたします。

はじめに、会議の開催に当たり、大澤委員長からごあいさつを頂戴したいと思います。

1 委員長あいさつ

[委員長]

皆さんこんにちは。コロナ禍の状況の中、更に足元の悪い中でお集まりいただき、誠にありがとうございます。ここ2年、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、観光が非常にやりづらい状況が続いてきました。正直言ってこの状況に飽きてしまった感さえありますが、アフターコロナに向けた取組をそろそろ考えていく時期に来ているのではないかと考えています。観光が新型コロナによって苦境に立たされたことは否めませんが、必ずしも悲観すべきことばかりではないと思っています。外に向けて活発に動けないだけに、地域内に向けてしっかりと地固めをする良い時期ではないかと個人的に考えています。人というのは危機に直面すると、知恵と結束が生まれます。そうした意味で、現状を良い方向に向けていくための知恵と、地域内、更には稲沢市と周辺エリア間での結束が生まれてきていると感じています。本日の会議においても、皆さんから活発なご意見、ご指導をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

[事務局]

次に、新しく委員に就任されました4名の方をご紹介します。

一人目は、稲沢商工会議所事務局長の阿部 一洋 委員です。続いて二人目は、名古屋鉄道株式会社グループマーケティング部ツーリズム推進担当課長の木下 正章 委員です。続いて三人目は、尾張大國霊神社権禰宜の鈴木 康仁 委員です。最後に四人目は、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所河川公園課長の小島 慎也 委員です。前任委員の異動・退職等に伴いまして、各所属団体から新たに選任いただき、本日3月1日付けで委員を委嘱させていただいたものです。任期につきましては、本委員会の設置要綱の規定に基づき前任委員の任期を引き継ぎ、令和5年2月28日までとなりますので、よろしくお願いいたします。なお、4名の皆様のお手元に委嘱状をお配りしております。本来であれば、お一人ずつ委嘱状を交付させていただくところですが、時間の都合上、このような形に替えさせていただきましたことをご了承ください。

3 自己紹介

[事務局]

それでは、新たに就任された委員の皆様から自己紹介をお願いできればと存じます。

お手元の委員名簿の掲載順に従い、阿部委員からお願いいたします。

<阿部委員、木下委員、鈴木委員、小島委員の順で自己紹介>

[事務局]

ありがとうございました。次に3点、ご報告とお願いをさせていただきます。

はじめに、本日の会議につきまして、名古屋文理大学情報メディア学部情報メディア学科教授の栗林 芳彦 委員、日本観光振興協会中部支部事務局長の西村 哲治 委員、善光寺東海別院住職の林 和伸 委員及び愛知県観光コンベンション局観光振興課長の小島 馨 委員から、職務の都合により欠席される旨ご連絡をいただいております。また、大野 芳樹 委員からは、他の行政会議に出席中であり、終了次第こちらへ向かわれる旨ご連絡をいただいておりますことをご報告いたします。

2点目としまして、この会議は、「稲沢市観光基本計画推進委員会の運営に関する確認事項」に基づき、公開となっております。事務局で会議録を作成し、ホームページ等で公開させていただきますのでお願いいたします。

最後に3点目としまして、本日は会場が広くなっておりますので、恐れ入りますが、ご発言いただく際はマイクをお使いいただきますようお願いいたします。なお、新型コロナウイルスの感染防止対策として、担当者がマイクを消毒の上お持ちしますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これより議事に移らせていただきます。

本日の協議事項は、お手元のレジメに記載のとおり、「稲沢市観光まちづくりビジョンの進捗状況について」、「次年度の取組方針について」、「計画の中間見直しについて」、「その他」の4点になります。委員の皆様から多様な意見をいただき、その内容を今後の計画の推進に反映していきたいと考えております。限られた時間ではございますが、ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。会議の議事進行につきましては、本委員会の設置要綱の規定により、委員長が務めることになっておりますので、以後の会議の取り回しにつきましては、大澤委員長をお願いいたします。

4 協議事項

(1) 稲沢市観光まちづくりビジョン(第2次稲沢市観光基本計画)の進捗状況について

(2) 次年度の取組方針について

[委員長]

それでは、議事に入りたいと思います。

最初に協議事項(1)稲沢市観光まちづくりビジョン(第2次稲沢市観光基本計画)の進捗状況について及び協議事項(2)次年度の取組方針について、事務局から一括して説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料1「稲沢市観光まちづくりビジョン(第2次稲沢市観光基本計画)の進捗状況(2021年度年次報告書)」及び資料2「稲沢市観光まちづくりビジョン(第2次稲沢市観光基本計画)アクションプラン進捗状況(2021年度実績)」に基づき説明】

[委員長]

事務局からの説明が終了しました。ご意見、ご質問等がある委員は挙手の上、ご発言をお願いします。

[委員①]

私は祖父江地区に在住していますので、銀杏のことを特にお聞きしたいと思います。資料2の24 ページ『食』の地域ブランド化の推進の箇所に、JA 愛知西が「レシピ・保存方法」のリーフレットやチラシの作成に取り組んだとありますが、こうした啓発物があること自体を初めて知りました。JA 愛知西が取り扱っている「祖父江ぎんなん」ブランドの販売箱に QR コードを付けて、銀杏の食べ方や殻の簡単な割り方を紹介する動画にアクセスできるようにすれば、チラシ類を作成する必要がなくなるのではないかと思います。

[委員②]

貴重なご意見をありがとうございます。QR コードについては、販売箱の外装だけでなく、箱の中に入れるレシピリーフレットにも付けていく必要があると感じています。時代の流れでもありますので、祖父江ぎんなんブランド推進協議会の中で今後検討していきたいと思います。

[委員①]

私も家で銀杏を生産しており、注文が入って発送することが多々あります。たくさん買っただけの方には、銀杏割り器を付けたりもしていますが、専用の割り器があること自体、皆さんあまりご存じありません。「ペンチを使って殻を割ってみたら、実まで一緒に割れてしまった」という声もよく聞きます。また、茶封筒に入れて電子レンジでチンする方法とか、食べ方が分からないという声も多く聞きます。そうした方にレシピを載せたチラシを作って一緒に送ってあげると、大変喜ばれます。JA さんもこうした取組を推進されると良いかと思います。

[委員長]

委員の知恵と労力をぜひ活用していただけたらと思います。積極的な連携を期待しています。

[委員①]

善光寺東海別院で4月から7年に1度の御開帳が行われますが、7年前は飛鳥善光寺と一緒に回られる方など、観光バスで訪れるお客さんを多く目にしました。信長をテーマにしたツアーも興味深いですが、今年に限っては善光寺の御開帳を絡めたツアーも良いのではないかと思います。

[事務局]

御開帳の案内チラシを用意しますので、後ほどお配りします。

7年前と比べて異なるのは、善光寺東海別院の南側で区画整理事業が行われ、大型駐車場が整備されたことです。今回も大いに賑わうのではないかと思います。

[委員長]

御開帳について、次年度の計画の中ではどのような位置付けがされているのでしょうか。

[事務局]

全国の旅行会社との観光商談会に市と観光協会だけでなく、善光寺東海別院も自ら参加し、御開帳をツアーに組み入れていただくよう各旅行会社に働き掛けを行いました。また、昨年11月にはその前段として、稲沢市観光協会で「稲沢の自慢スポットを巡る旅」と題したモニターバスツアーを実施し、善光寺東海別院を訪れて御開帳が行われることをPRさせていただきました。今回の御開帳は4月3日から6月29日までの長期間となりますので、稲沢あじさいまつりの会場と善光寺東海別院を経由したコースを稲沢市観光協会のモニターツアーとして企画していきたいと考えています。県内外からの誘客は旅行会社へのPRでお願いし、近隣からの誘客は、観光協会が軸となってモニターツアー等を検討していきたいと思っています。

[委員③]

私どもは業務上、地元の企業との繋がりが深いことから、「産業観光」という位置付けの中で、日々いろいろな所に出向き、工場長さんや社長さんと話をしています。例を申し上げますと、普段は一般公開されていませんが、三菱電機稲沢製作所のエレベーター試験塔 SOLAE(ソラエ)や日本軽金属の工場内にあるアルミを溶かす高炉の見学などが挙げられます。稲沢市の中で既に積極的に取り組まれている企業で言いますと、(株)明治の「明治なるほどファクトリー愛知」があります。明治さんはしっかりとした展示施設を設けられています。他の企業ではそこまでの投資は難しいかと思われ。ただし、豊田合成記念体育館(エントリオ)とJR稲沢駅を繋ぐ空間など、現状のままでも掘り起こせば活用できそうなものもありますので、商工会議所として「産業観光」という位置付けの中で何かコース立てて、こうした会議の場でご提案するとともに、日々の中でも開発や先方への接触などに努めていきたいと思っています。

また、長年取り組んでいる特産品開発についても、令和4年度中に新たな商品を作り上げていきたいと思っています。

最後に、皆さんにご相談をしたい案件がございます。実は私どもで「いなっピー銀杏カレー」という商品を販売しているのですが、現在窮地に立たされています。カレーの中に入れる銀杏について、皮を剥いた加工状態で持ち込んでくれる事業者が無く、JA愛知西にも相談しつつ、現在確保に当たっているところです。本日お集まりの皆さんの中で、提供できそうな事業者、製造ツール、代理店をご存じでしたら、教えていただくと助かります。言うまでもなく、海外製品はいくらでもありますが、私どもとしては、あくまで「祖父江ぎんなん」の加工をしてもらえるところを探しています。これが見つからないと、販売中止になってしまいますので、ぜひ皆さんの知恵をお貸しいただければと思います。よろしくお願ひします。

[委員④]

祖父江町商工会で剥き実を実施しているのですが、1kg 1,000円でしか売れません。職員が3時間掛かりでようやく1~2kgできる程度なので、頑張っても赤字になってしまいます。銀杏の

処分に困った地元の方々が持ち込まれますので、ゴミにする訳にもいかず、臨時職員を使って作業を行い、中華料理店や饅頭屋さんに出荷しています。手間がかかる割に儲からないため、取り扱いをされる方がいないのが実情だと思います。

[委員長]

話が横道に逸れるかもしれませんが、機械化することは難しいのでしょうか。

[委員④]

祖父江町商工会で以前に「世界初」という触れ込みの機械を購入したのですが、銀杏を一つずつセットするのに時間が掛かり、殻を金槌で割った方が早いことから、高性能の機械を十分に活用することができませんでした。

[委員長]

オートセンサーで方向と大きさを揃えて一斉に叩き割るくらいなら、今の技術で出来そうな気がします。

[委員③]

叩き割るよりも薄皮を剥き取ることのほうが大変なようです。

[委員長]

皆さんの連携によって、この難題をぜひ乗り越えていただきたいと思います。

[委員④]

「そぶえイチョウ黄葉まつり」について、今後はメイン会場を祖父江ぎんなんパークにしていきたいと考えています。このパークは、昨年6月に新たな拠点として名鉄尾西線の山崎駅前にオープンした施設です。立地条件は非常に良いのですが、電車でお越しになる方がそれ程多くなく、マイカーで来られる方が圧倒的に多い状況です。今年度のまつりは中止となりましたが、イチョウ黄葉シーズンに当パークで「祖父江ぎんなんマルシェ拡大版」と題して5日間物販を中心としたマルシェを開催しました。遠方を含め本当に多くの方々にお越しいただき、来場者数12万人という数字を発表しましたが、そのほとんどがマイカーでの来訪でした。年代層も「パーク」や「マルシェ」といった響きが良いのか、家族連れの方が大変多くなっています。また、お金を落としてくださる方々も増えているようで、マルシェの出店者からは売上が伸びたと聞いています。そうした中で、一番困っているのが駐車場の問題です。今回臨時駐車場を9日間限定で用意しましたが、テレビ・新聞各社が放送都合で期間後半に取材を入れ、「これからが見頃である」とPRされたため、期間終盤から終了後にかけて来訪者が一気に増加する形になってしまい、駐車場が無い中で前にも後ろにも進まない渋滞状況が立て続けに発生してしまいました。来年度は臨時駐車場の設置期間を更に1週間延ばす予定ですが、如何せんその場所がスポーツグラウンドや小学校の校庭であるため、雨が降ると使用できなくなってしまうなど、対応に苦慮している状況で

す。電車で来ていただくための動機付けやパーク&ライドの活用に向けた何か良いアイデアがあれば、ぜひお聞かせいただければと思います。

[委員⑤]

鉄道の利用が少ないというお話ですが、昨今のコロナ禍でどこの観光地も同じ状況です。鉄道に限らず、公共交通全体がどうも忌み嫌われてしまっている状況にあり、知らない人と触れ合いたくないという心理が影響していると考えられます。公共交通でクラスターが発生したという事実は当然聞いていませんが、そうしたイメージになってしまっています。そして、結果的にマイカーが増えるという悪循環が生じているのではないかと思います。これはどこのエリアでも、どこの観光地でも同じ状況です。これらの解決策としては、負のイメージを払拭していくしかないと思います。ただし、マイカーでお越しになられる方に、「渋滞が発生しますから」といった悪いイメージを発信することは、地域としてあまり良くないと思っていますので、「公共交通でお越しいただく方へのメリットを増やす」、そういった施策を我々の方でも検討していきたいと考えます。イチョウ黄葉シーズンにお客様が多いことは当然把握していますので、前もって準備していけば、何らかの有効な施策が打ち出せるのではないかと思います。

[委員長]

これを機に直接相談していただき、いろいろなことに取り組んでいただければと思います。

[委員①]

祖父江ぎんなんパークについて、「駐車場が十分に確保できない」というお話ですが、田舎なので声を掛ければ、地元の方はイチョウ黄葉の時期だけでも提供してくれると思います。また、コミュニティバスについて、イチョウ黄葉の時期だけでもルートを変更し、森上駅から山崎駅まで走らせることができれば、多少なりともお客様の足が確保できるのではないかと思います。

[委員長]

祖父江町商工会の目に付かない場所があるかもしれませんので、地元の方々の情報をぜひ提供いただければと思います。

[委員④]

よろしく申し上げます。

[委員長]

コミュニティバスの件も別途ご相談いただければと思います。

[委員⑥]

何点か申し上げます。はじめに資料1の1ページに掲載されている「年間観光入込客数の推移」について、2016年と2019年の「へいわさくらまつり」の数値が統計上の理由から未計上となって

いますが、数値自体は把握されていると思いますので、何らかの形で掲載することはできないでしょうか。

2点目として、資料2の24ページに記載されているアクションプラン「稲沢市の特性を活かした土産品の開発」について、先ほど事務局からの説明の中で「へいわ桜グルメ」の紹介をしていただきましたが、その後の進捗がありましたのでご報告いたします。この度、平和町商工会の会員で市内外の飲食店13事業者に「桜」をテーマとした商品を販売していただけることになりました。それに伴い、「へいわ桜グルメMAP」を作成し、3月18日（金）の新聞折込みで配布する予定です。「へいわさくらまつり」は今回中止となりましたが、例年多くの方が平和桜ネックレスを見に来られます。その際によく言われるのが、「食事をする場所が無い」との意見です。そうした課題を解消するために、「へいわ桜グルメMAP」を作成しました。市や観光協会とも相談し、MAPの有効な設置場所を考えていきたいと思います。お越しになられた方の目の届く場所に設置し、手に取っていただき、提供店舗で桜グルメを召し上がっていただきたいと思います。

続いて3点目として、桜ネックレスの遊歩道について申し上げます。遊歩道を整備してもらえるのは大変ありがたいのですが、部分的にバリケードで封鎖されている箇所があります。その箇所を確認すると、決して通行できない訳ではありません。昨年の桜の満開時期もバリケードが設置されており、通行できない場所が一部ありました。工事業者との調整が必要だとは思いますが、来訪者の視点に立って、桜の見頃の時期だけでも通行可能にできないでしょうか。

最後はお願いになりますが、稲沢市観光協会のモニターツアーでぜひ桜ネックレスも取り扱っていただきたいと思います。

[委員長]

ありがとうございました。はじめに統計数値についてはいかがでしょうか。

[事務局]

ご指摘のとおり、「へいわさくらまつり」の数値は過去を含め把握しておりますので、参考掲載という形にはなりますが、資料中に表記するよう改善していきたいと考えます。

[委員長]

続いて、桜ネックレスのバリケードについてはいかがでしょうか。

[事務局]

ご指摘の件については、私も昨年現地を訪れ、同じような思いを持った次第です。遊歩道を所管しているのが同じ市役所内の都市整備課という部署になり、担当者に確認したところ、桜の木が所々根上がりし、歩行者が蹴躓いて事故を起こす危険があるため、防止のため部分的に通行止めをしているとのことでした。そうした場所を除き、工事に支障の無い範囲で開放できる部分があれば、桜の時期だけでも通行可能となるよう商工観光課から担当部署へ働き掛けたいと思います。

[委員長]

閉鎖することが一番簡単な方法ではありますが、迂回看板一つにしても小洒落た感じにすれば、訪れる人の気分も変わるのではないかと思います。その点も含め、追々ご相談いただければと思います。

最後に、「稲沢市観光協会で桜ネックレスも取り上げてほしい」という意見に対してはどうか。

[事務局]

平和桜ネックレスではありませんが、今月下旬に「着物が似合う街 いなざわ 春は国府宮の桜」と題して、国府宮参道の桜並木を着物で歩き、神社で特別参拝をする企画を足立学園総合研究所と連携として実施する予定です。桜が見頃の時期と言えば、3月下旬から4月上旬になりますが、コロナ禍ということもあり、そのタイミングでバスツアーを企画することは現実的に難しい状況です。来年度以降の実施に向けて調整していきたいと考えます。

[委員長]

来年度以降の開催に向けて、前向きに取り組んでいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

[委員⑦]

「いなざわ観光まちづくりラボ」の取組として、「馬飼ビーチフェスティバル」の会場で「実践！観光まちづくり講座」を実施していただき、ありがとうございました。今年度の「馬飼ビーチフェスティバル」は、7月24日と25日の2日間、サリオパーク祖父江で開催されました。主催団体が事前準備を含め一生懸命取り組まれましたが、ちょうど新型コロナの感染が拡大している時期に当たってしまい、情報発信も十分できず、会場である公園内でのバーベキューも禁止されている状況であったため、フルスペックでの開催ができませんでした。そうした中でも、多くの方にお越しいただき、盛況であったと聞いています。令和4年度も7月下旬に計画されていますので、新型コロナが落ち着いてしっかりと開催できるようになれば、更に多くの人を呼ぶことができるのではないかと思います。

「稲沢サンドフェスタ」については、昨年度、今年度と2年続けて砂像の展示のみに止まっておりますので、令和4年度こそはかつての賑わいを取り戻せるよう願っています。

また、サリオパーク祖父江では、シクロクロスの大会を定期的で開催しています。昨年12月に開催された際は、出場者、来場者共に多く、盛況であったと聞いています。先月も大会が開催される予定でしたが、オミクロン株の感染拡大に伴い、残念ながら中止となってしまいました。なお、確定情報ではありませんが、令和4年12月に全国大会を誘致しようという動きがあります。全国大会の開催が決定されれば、これまでとは違った観光事業の展開も考えられると思いますので、ぜひ連携していければと思います。

[委員長]

皆さんの積極的な連携に期待しています。

[委員①]

祖父江ぎんなんパークの前を通ると、いつも閑散としています。駐車場も9時から17時までしか開放されず、夜間は閉鎖されてしまいます。銀杏のピークは11月から12月にかけてですが、「その時期を過ぎると買うことができない」という声もちらほら聞きます。いろいろと作業の手間はかかりますが、本来であれば銀杏は収穫してから2月の終わり頃まで提供が可能です。「売れないから捨ててしまう」という生産者の声も聞いていますので、いっそのこと祖父江ぎんなんパークに銀杏の自販機を置いてはどうでしょうか。

[委員長]

銀杏農家が自ら取り組んでいただくことが望ましいと考えます。市として設置許可を出すくらいはできると思いますので、ぜひ生産者側でご検討いただければと思います。

[委員⑧]

Instagram の取組について申し上げます。稲沢市観光協会で様々なチラシを作成されていますが、チラシに載っているQRコードを読み取ると、おそらく観光協会の公式WEBサイトに展開するパターンが多いのではないかと思います。Instagramは若者の利用が多いので、フォロワー数を増やしていこうとするのであれば、QRコードから直接Instagramに展開させたほうが効果的だと思います。加えて、当社を含む会員事業者のチラシ等を活用し、観光協会がInstagramをやっていることをPRしていけると、どんどん発信力も強まっていくのではないかと思います。

[事務局]

本日お配りした「い〜な稲沢♪知ろう！楽しもう！稲沢の魅力」体験プランのチラシで言えば、主に若者をターゲットとしたSUP体験と幅広い年代層をターゲットとした盆栽づくり体験等がまとめて掲載されていますので、一概には難しいところがあります。各事業者が持つWEBサイトやInstagramアカウントを直接案内するなど、QRコードからの展開方法を含め、どのような方法が最も効果的なのか、関係者とも相談しながら検討していきたいと思っています。

[委員長]

市役所や観光協会がこの手の話に達者かと言えば、そうでもなかったりするのですが、「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーが持つアイデア等を活用しながら、取り組んでいるところです。先ほど回答があったとおり、観光協会でももちろん検討していきますが、ラボメンバーの方々にもぜひ意見を届けていただきたいと思います。より効果的な情報発信に向けて、お互いにしっかりと意見が言い合える関係づくりが必要と考えますので、引き続き積極的なご意見をお願いします。

[事務局]

チラシの情報は、稲沢市観光協会の公式 Instagram にも常時掲載しています。紙ベース、SNS、WEB サイトを上手くミックスしながら発信していければと思います。

紙ベースは、どうしても置ける場所が限られてしまいます。設置場所の確保に向けて、皆様の中で何らかのネットワークをお持ちであれば、教えていただけると助かります。

SNS 等による発信力の強化に向けては、稲沢市観光協会の取組だけではどうしても弱いので、愛知の公式観光 WEB サイト「AichiNow」に掲載してもらうなど、様々な手立てを使いながら出来ることをやっていきたいと考えています。

[委員長]

成果検証までしっかりと出来るのであれば、基本的にはやり散らかせば良いと思います。今の時代、発信手段が追い付かないくらい広がってきていますので、やりながら考える体制になっていると思います。皆さんからの意見がむしろ大変ありがたい状態なので、今後も遠慮せずに言っただければと思います。

[委員⑨]

資料 2 の 15 ページに荻須記念美術館の取組が掲載されていますが、荻須高德画伯は非常に有名な方ですので、何とか稲沢市で盛り上げていただきたいと思います。また、愛知県立第三中学校（現：愛知県立津島高等学校）出身ということで、津島高校とも繋げていただきたいと思います。

因みに、資料 1 の 1 ページに美術館の来場者数が掲載されていますが、このうち稲沢市民はどの程度なのでしょう。

[事務局]

詳細な資料を持ち合わせていないため、お答えすることができません。

[委員⑨]

愛知県立瑞陵高校が杉原千畝さんと随分盛り上がっていますが、荻須画伯は杉原さんに匹敵するくらい有名な方だと思います。稲沢市を代表する著名人ですので、津島高校ともしっかりと連携しながら取組を進めていただきたいと思います。

[委員長]

美濃路の件でもそうですが、学校と積極的に連携することは将来に向けてすごく大事なことだと思います。ぜひ前向きに進めていただければと思います。

[事務局]

津島高校の生徒さんたちの中で荻須画伯はどのような認識でしょうか。

[委員⑨]

校長室に荻須画伯の作品が展示されていますし、高校のホームページでも紹介されています。生徒たちも十分認識していると思います。

[事務局]

荻須画伯は稲沢市初の名誉市民です。稲沢市ではこの度、元内閣総理大臣の海部俊樹さんを新たな名誉市民として推挙するのですが、その際に改めて荻須画伯の名前が世に知れ渡ったのではないかと思います。委員のご意見は斟酌させていただき、今後繋げていきたいと思えます。

[委員②]

資料2の24ページ『食』の地域ブランド化の推進」に記載の「祖父江ぎんなん」ブランドの取組について補足させていただきます。愛知県の農業高度化プランナー事業を活用して3年間のロードマップを作成しました。その中で、消費者の認知度拡大に向けた取組や、SNSによるマーケティング、バーチャルパークといった運用を活用した取組によって販路の拡大を目指していくことが位置付けられました。2025年に向け、今後祖父江ぎんなんブランド推進協議会の中で協議を重ねていきます。市や観光協会、祖父江町商工会など関係機関とも連携しながら進めていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

[委員⑤]

はじめてこの会議に参加させていただきましたが、多岐にわたって取り組まれており、その中でも「いなざわ観光まちづくりラボ」の取組は、たくさんの市民の方が参加されており、大変感心した次第です。稲沢市の観光について私どもがまず思い浮かべるのが「祖父江のイチョウ黄葉」です。それ以外の時期となると、稲沢市を目的に訪れる方は少ないのが現実だと思っていましたが、ラボのような取組が年間を通じて稲沢市の観光を盛り上げる要因になるのではないかと思います。こうした取組を今後も広げ、続けていただきたいと思います。

一方、「祖父江のイチョウ黄葉」についてですが、実は当社の海外向け Facebook において、ある年のビジュアルでトップのビュー（閲覧者）数を記録しています。我々の Facebook は「冬の白川郷」を始め、中部地域全体の様々なコンテンツを配信しているのですが、「祖父江のイチョウ黄葉」のビジュアルに対する反応が一番良かったです。こうした貴重な財産は、今後も上手く活用していただきたいと思います。

次に、資料1の3ページに参考指標として「市内観光消費額」が掲載されていますが、これこそが観光の一番の目的だと感じています。市内にお金が落ちる、市内経済が潤う、観光を通じて市民が儲かるような仕組みを築いていくことが、観光に取り組む一つの大きな目的ではないかと思えますので、意識した取組を進めていただければと思います。

最後に、他の委員からも発言があった PR についてですが、いろいろとアンケート調査も実施されているようですので、その結果をまた教えていただけるとありがたいと思えます。稲沢市へのお客様が一体どこから来ているのか、その方々に対してどのようなプロモーションを展開していくべきなのか、そうした部分をしっかりと掴んで次の施策に活かしていくことが重要だと考えま

す。例として、先ほど観光展の開催について紹介がありましたが、本当にアピタ稲沢店で開催すべきなのか、そうした点も考えていく必要があると思います。

[副委員長]

資料を拝見し、稲沢市観光まちづくりビジョンの取組について、上手くまとめられていると感じました。また、アクションプランの進捗状況もしっかりと把握されており、大変感心しました。その中で、少し確認したい点がありましたので、申し上げます。

資料1の中で「年間観光入込客数」や「その他のまつり・イベント、施設等の来訪者数」、「稲沢市観光協会公式WEBサイトセッション数」といった数値が掲載されていますが、「どこから来られているのか」、「どういう方が閲覧しているのか」といった詳細データをおそらくお持ちだと思います。「今後どのような施策を展開していくべきか」、「どういった方をターゲットにしていくか」を考える上で必要になってくると思いますので、しっかりと整理の上、分析しておいていただきたいと思います。

続いて、愛知県のPRも兼ねてお話をさせていただきます。先ほど他の委員から「SNSで祖父江のイチョウ黄葉の反応が非常に良かった」というお話がありましたが、愛知県観光協会でも観光PR動画を作成しました。既に見ていただいた方もいるかもしれませんが、「祖父江のイチョウの色付きが非常に良い」といったお褒めの声もいただいています。このことをなぜ申し上げたかと言うと、ご存じのとおりジブリパークが今年の11月1日にオープンします。ジブリパークは愛知県として非常に推しているスポットなのですが、その一方でここだけ見て帰って行かれる方も多いのではないかと懸念しています。というのも、ジブリパークは年間の需要を100万人しか予定していないため、実際に見ることができない方も多数現れることが想定されます。また、今回は5施設のうち3施設のみがオープンするため、公園のどこかからトータルの外観だけ眺めて帰って行かれる方もいると思われれます。そのため、ジブリパークだけでなく、県内のどこかのスポットも一緒に見ていただけるように相互に連携を図りながら取り組んでいくことが非常に重要となります。そうした中で、11月オープンですので、「祖父江のイチョウ黄葉」との組合せが季節的にピッタリではないかと思っています。連携を取ってPRしていくことが望ましいと考えますので、来年度ぜひ取り組んでいただきたいと思います。

最後にもう一つ、来年1月からNHK大河ドラマ「どうする家康」が放送されます。愛知県全体として徳川家康を主体に取り組んでいくのですが、ここ稲沢市は織田信長ゆかりの地です。信長と家康は友好関係にありましたので、おそらくどこかのタイミングでPRできる機会が生まれると思います。愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会に稲沢市、稲沢市観光協会共に参画されていますので、その中で情報をしっかりと共有し、PRできる準備を進めておいていただくようお願いします。

[委員長]

皆さんから一通りご意見をいただきましたので、以上で終了し、委員の皆様にお諮りします。

協議事項1「稲沢市観光まちづくりビジョンの進捗状況」及び協議事項2「次年度の取組方針」については、本日委員の皆様から出された意見等を今後の計画の取組に反映していただくこと

いうことでよろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

[委員長]

ご異議も無いようですので、事務局は本委員会の意見等を踏まえ、稲沢市観光まちづくりビジョンの取組を更に推進していただくようお願いします。

(3) 計画の中間見直しについて

[委員長]

次の協議事項に移ります。

協議事項3「計画の中間見直しについて」、事務局から説明をお願いします。

= [事務局] =

【資料3「稲沢市観光まちづくりビジョンの見直しについて(案)」に基づき説明】

[委員長]

事務局からの説明が終了しました。

市としては、残り5年分の計画をこの時点で一気に作ることは、状況が見通せない中で難しいと考えており、新型コロナの収束までの間の短期的な計画を一旦作り、本格的な見直しはその後に行いたいという考えで良かったでしょうか。

[事務局]

はい。

[委員長]

基本的には稲沢市観光まちづくりビジョンで設定されている路線をそのまま進めていくこととなりますので、やること自体が大きく変わることは無いのですが、状況に応じて短期的な対応を練らなければならないため、示されたスケジュールを基に「withコロナ期戦略版」の策定を進めていくというのが趣旨になります。

この件について、ご意見やご質問等がありますでしょうか。

[副委員長]

見直しの趣旨自体に異論はありませんが、タイトルに若干違和感があります。「コロナ期戦略版」であれば理解できるのですが、「with」が付くことには違和感を覚えます。私自身、新型コロナと観光が共存することはあり得ないと思っていますので、名称は改めてご検討いただけると幸いです。

[委員長]

本日示されたタイトルはもちろん後ろに「(仮)」が付くものだと思います。1年間の検討期間がありますので、名称についてもしっかりと決めていければと思います。ただ今の意見はとても大事な考え方だと思いますので、皆さんと共に追々考えていければと思います。

その他にご意見やご質問等がありますでしょうか。

<意見、質問等無し>

[委員長]

他に無いようですので、委員の皆様にお諮りいたします。

協議事項3「計画の中間見直し」について、本日委員の皆様からいただいた意見等を反映し、次年度から取り組んでいただくということによろしいでしょうか。

<「異議無し」の声>

(4) その他

[委員長]

続いて、協議事項4「その他」に移ります。

先ほどの協議内容に関わらず、委員の皆さんからご意見やご質問があれば、ご発言ください。また、この機会に情報共有しておきたいことがあれば、よろしく願いいたします。

[委員⑩]

【稲沢市観光協会から国土交通省中部運輸局令和3年度運輸関係優良事業者（観光振興部門）の受賞報告】

[副委員長]

表彰に際し、愛知県観光協会から強力に推薦をさせていただきました。他の地域には無い稲沢市特有の取組である「いなざわ観光まちづくりラボ」の存在、そして稲沢市全体でしっかりと観光に取り組んでいることが主な推薦理由となります。

[委員長]

今回の受賞を大変嬉しく思います。「いなざわ観光まちづくりラボ」は本当に稲沢市独自のやり方です。観光の取組は市役所だけでは決してできないので、計画を作る際には「誰がどうやってやるのか」が必ず問題になります。そうした中で稲沢市は、市民をいかに巻き込み、市民が持っているネタをいかに自主的に活かしていただくかを考えた結果、一つの仕組みとしてラボを立ち上げて運営してきた訳です。それが評価されたことは大変ありがたいことです。「観光はこうしたやり方しか無い」と私自身思っているところがあり、愛知県の先進的なモデルになってくれることを期待して、このラボの活動を見守ってきました。その意味で今回こうした表彰を受けたこと

は、とても励みになりますし、ぜひ皆さん自身も積極的に自慢していただけたらと思います。

ラボは個人しか参加できない訳ではなく、組織・団体間を含め様々なパターンでの連携を模索している状況です。今日の会議の中で「皆さんの間で積極的に話し合ってください」と言ったのはそういう意味です。「一緒に何かやろう」、「こんなことができないか」といった話をぜひ積極的に進めていただければと思います。

その他にご意見やご質問等がありますでしょうか。

<意見、質問等無し>

[委員長]

他に無いようですので、以上で本日の議事を終了したいと思います。活発なご意見をいただき、ありがとうございました。

5 その他

[事務局]

ありがとうございました。本日いただいたご意見を踏まえまして、「稲沢市観光まちづくりビジョン」の取組を引き続き推進してまいります。

それでは最後に、事務局から3点事務連絡をさせていただきます。

はじめに次回の会議についてですが、先ほど担当からご説明しましたとおり、来年度、現計画の補完計画となる「稲沢市観光まちづくりビジョン with コロナ期戦略版（仮）」の策定に向けて取り組んでいきたいと考えます。それに伴いまして、当委員会での計画案に関する検討審議をお願いしたいと考えております。現段階で令和4年度中に計4回の会議を予定しており、最初の会議を5月下旬頃に開催できればと考えております。内容としましては、戦略版の策定に向けた具体的な方針と詳細スケジュールをお示しし、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。会議の日程等につきましては、文書で改めてご案内いたしますので、よろしく願いいたします。

2点目としまして、3月5日（土）と6日（日）に愛知県植木センターで開催されます「第16回いなざわ梅まつり」のチラシ、「い〜な稲沢♪知ろう！楽しもう！稲沢の魅力」体験プランのチラシ、「善光寺東海別院・御開帳」のチラシを本日配布させていただきました。ご覧の上、ご参加、ご来場いただきますようお願い申し上げます。また、ご家族やご友人にもご案内いただけますと幸いです。

最後に3点目としまして、本日の会議への出席に伴う謝礼につきましては、指定の口座へ振り込ませていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

本日は長時間にわたり慎重審議いただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、会議を閉会させていただきます。

以上